

令和 7 年度 男女共同参画近江八幡市行動計画進捗状況調査 結果（概要版）

1. 調査の全体概要と評価結果

本調査は、「男女共同参画近江八幡市行動計画」に基づき、令和 7 年度における各施策・事業の進捗状況および達成度を測定・評価したものです。全 74 施策の基本目標別の達成度（評価）状況は以下のとおりです。

■基本目標別評価内訳（回答数）

	基本目標Ⅰ	基本目標Ⅱ	基本目標Ⅲ	基本目標Ⅳ	推進体制	合計	割合
A	2	4	6	1	2	15	10.6%
B	33	21	20	23	16	113	79.6%
C	0	5	2	2	1	10	7.0%
D	0	1	0	0	0	1	0.7%
E	0	1	1	0	1	3	2.1%
合計	35	32	29	26	20	142	100%

◎全体として「目標をほぼ達成（B）」が全体の約 8 割を占め、着実に計画が推進されています。一方で、基本目標Ⅱ、Ⅲ、推進体制において、一部計画を下回る「C・D・E」評価（計 14 件）が見られ、これらへのアプローチが今後の課題となっています。

2. 令和7年度の主な成果

特に優れた成果（A評価）を収めた、または顕著な進展が見られた主な事業です。

【事業No.34】創業に向けた講座や交流の場の充実

担当：商工振興課

成果：創業について学ぶ企業セミナー「はちまん創業塾」を全6回開催し、目標20名に対し32名が参加（5回以上出席者に修了証を発行）。

今後の方向性：受講内容のブラッシュアップを図り、次年度も補助金を交付して継続。

【事業No.35】暴力及びハラスメントを許さない社会づくりに向けた啓発

担当：人権・市民生活課

成果：11/12～11/25の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、市広報や市公式LINE、市HPで情報発信を行った他、関係各所における啓発ポスターの掲示、白雲館でのパープルライトアップなど、多角的なアプローチで啓発活動を展開した。

今後の方向性：DV相談先としての配偶者暴力相談支援センターの認知度向上のため、引き続き「女性に対する暴力をなくす運動」を中心に、DVに関する啓発に取り組む。

【事業No.51】保護者の交流の場の提供

担当：こども家庭センター

成果：子どもセンター・子育て支援センターにおける利用者の交流の場を提供。目標（延べ11,000人）に対し、実績15,279人と大幅な利用を記録。

今後の方向性：子育て家庭に寄り添った支援ができるよう事業を展開。年齢別、多目的、多世代での交流推進を目指す。また、民間の子育て支援団体の取り組みを支援する。

【事業No.74】市政への市民意見の反映

担当：全課（企画課）

成果：「オーガニックビレッジ座談会」における女性参加割合について、目標値（50%以上）に対し、参加者39名のうち女性20名（占有率51.3%）を達成。アンケート回答数も目標（100名以上）を上回る126名を確保。

今後の方向性：開催場所や周知方法を工夫し、多くの市民が参加・意見を反映できる環境づくりに取り組む。

3. 審議会でご意見・ご助言をいただきたい項目

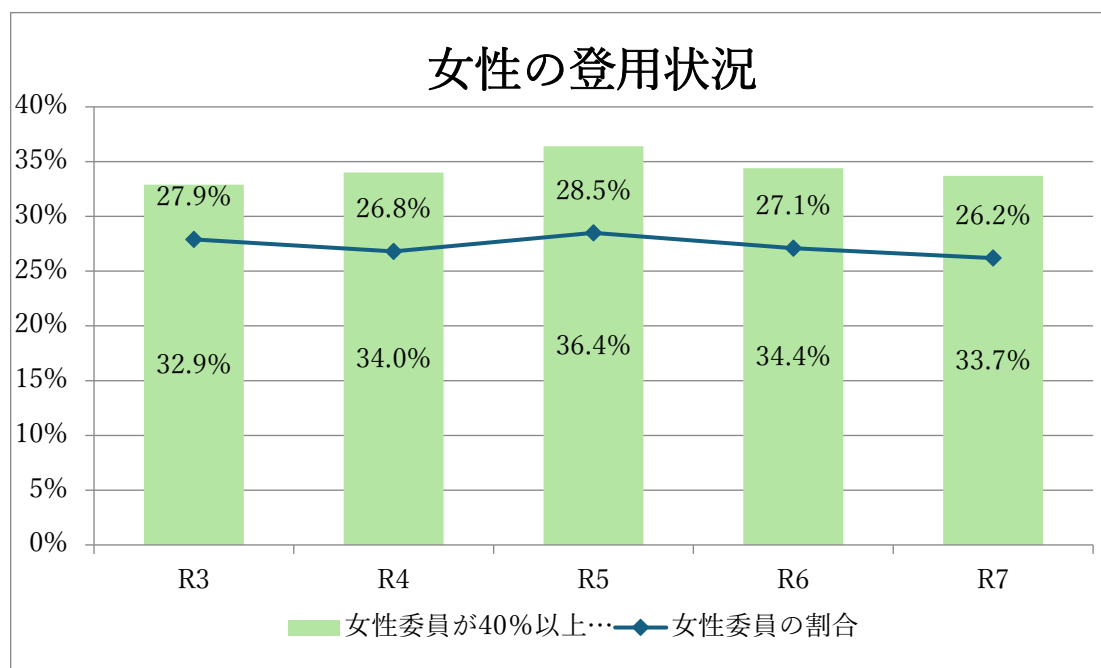
●審議会等における「女性登用率」の伸び悩みと偏り

【事業No.19】 審議会等への女性の登用

(全14件の評価内訳 A評価2件、B評価5件、C評価5件、D評価1件、E評価1件※)

市全体の委員会・審議会等における女性の登用状況率について、令和7年度は26.2%となりました。過去5年間の委員会・審議会等における女性の登用状況の推移は下記グラフの通りです。令和5年から2年連続で女性の登用率は減少しています。女性委員が少ない理由として、職務指定（充て職）や各団体からの推薦によって登用されるため、女性の選出を依頼すること自体が困難であったり、そもそも推薦できる女性委員がいないなどの意見が挙げられました。

※E評価となっている①市観光振興計画策定委員会②市観光振興計画ワーキンググループ③市観光振興計画プラットフォームについては、観光政策課より「該当なし（委員なし）」として報告されています。



従来の「特定の団体や役職からの推薦」という枠組みを超えて、地域や多様な専門分野（子育て、若者、市民活動など）から、知見や関心のある女性を広く掘り起こし、審議会に参画してもらうための「新しいアイデア」や「推薦ルート開拓の工夫」について、ご意見をお伺いできますと幸いです。